

南アルプス市議会議員／防災士

2018年
秋号

桜田ちから

議員活動報告

Vol. 2

深秋の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成28年11月の市議選から早2年になります。先輩議員や市職員の皆様にさまざまな教えをいただく中で、議会のあり方や行政の仕事の進め方などを徐々に習得し、街づくりのすばらしさ、難しさを実感しながら、私なりに街づくりへの熱意を持って議員活動に励んできました。

そして、この2年間、①地域防災力の強化 ②行財政改革と市政マネジメント機能の強化 ③教育福祉の充実 ④農業振興と中山間地域の活性化一などに取り組み、「南アルプス市防災リーダー連絡協議会」の設立、「市議会災害対策支援要領」の起案・制定、「少人数学級の推進や教職員定数改善」の

実現を目指す国への意見書提出支援、地域の支えあい協議体活動組織「ラヴィの会」の立ち上げ、「多面的機能支払交付金制度」の中山間地域での活用などを実現してまいりました。

こうした活動を続ける中で、改めて職責の重さを痛感するとともに、南アルプス市の将来像を明確に示し、市民の皆様の目線で「魅力ある街づくり」に取り組むことの重要性を確信いたしております。これからも、多くの市民の皆様のご意見を伺ながら、市民生活の向上と南アルプス市の発展のために取り組んでまいります。

桜田ちから

力の限り挑戦
Challenge
with full power

Sakurada Chikara

2年間の活動実績

2年前、私は、「安全そして安心して暮らせるまちづくり」・「観光で南アルプス市の将来を変える」・「将来を担う人を育てる」をVISIONに掲げて市議としての活動をはじめ、さまざまな取り組みを行ってまいりました。2年間の主な活動成果についてご報告いたします。



平成29年第3回定例会

請願「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書」の、国への意見書提出を支援

OECD諸国並みの少人数学級を推進し豊かな教育環境を整備すること、義務教育費国庫負担比率を現状の1/3から従来の1/2に戻すことを要請する意見書を国に提出する支援を実施。



平成29年10月

災害発生時における市議会の対応策を定めた「南アルプス市議会災害対策支援要領」を起案

東日本大震災で甚大な被害を受けた南相馬市を平成29年8月に訪問し、災害時の対応について学んだ内容をもとに、災害発生時における市議会の対応策を定めた「南アルプス市議会災害対策支援要領」を起案した。

平成29年10月

「中山間地域等直接支払制度」と「多面的機能支払交付金制度」の併用活用を実現

平成29年第3回定例会の代表質問で取り上げた、傾斜地等農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を支援する「中山間地域等直接支払制度」と農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るために共同作業に係る支援を行う「多面的機能支払交付金制度」の併用活用が、市が従来方針を変更したことにより実現し、中山間地域で農業を営む農家は、この2つの制度の併用活用が可能となった。これにより、櫛形西地区では、中野区が2018年度より併用を開始し、下市之瀬、平岡、上市之瀬、上野、あやめが丘の5つの区は、2019年度からの併用を目指して一つの活動組織をつくり、活動の準備を始めた。

平成30年5月

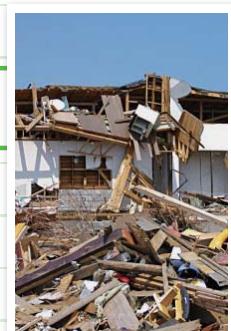
市が「南アルプス市防災リーダー連絡協議会」を設立

平成29年第2回定例会の代表質問での提案が採用され「南アルプス市防災リーダー連絡協議会」が設立され、5月23日に生涯学習センターで、有志60名が参加し設立総会を開催した。南アルプス市の防災リーダーが自治会の枠を超えて情報の共有や連携強化を図り、市民が主役の地域防災力の強化を図ることを目的としている。

平成30年6月

「南アルプス市議会災害対策支援要領」を市議会の要領として制定

平成29年10月に私が起案し、会派提案として会派代表者会議で審議していた「南アルプス市議会災害対策支援要領」が市議会の要領として制定され、平成30年9月2日の市の防災訓練で、要領に基づいた市議会初の災害支援本部開設訓練を実施した。



平成30年第3回定例会

請願「教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書」の国への意見書提出を支援

教材研究や授業準備や外国語教育実施の授業時間調整等に対応するために必要な教員定数の改善と、豊かな教育環境を整備するためOECD諸国並みの少人数学級を推進すること、国における養育予算の拡充を要請する請願「教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書」の意見書を国に提出する支援を実施。



議員活動

自らの五感と足を使って
知識と感性をフル回転し
精力的に活動してまいります



2017年11月第2回、
2018年5月第3回
議員活動報告会を開催



2018年6月
「南アルプス市議会災害対策
支援要領」の立案と制定



2018年8月
ギャンブル依存症
勉強会へ出席



2018年9・10月
台風21号・24号の
被害状況の確認



県内外への視察・調査
大分県杵築市、神奈川県横須賀市、
東京都町田市・多摩市、笛吹市、市内
3指定管理者

議会活動

NEWS!!

この2年間に開催された8回の定例会で代表質問を7回、一般質問を1回行い、本会議における質問及び答弁時間の合計(CATV放送時間)は7時間44分で、議員NO.1!でした。



2017年12月 議会代表質問

防災備蓄計画と指定避難所の在り方について

(質問1) 南アルプス市地域防災計画に定められた物資支給対象者、備蓄品目、備蓄数の現状は。
(質問2) 学校施設は地域の避難所となる。避難所機能を充実するよう発想の転換をはかるべきと考えるが市の考えは。

市政におけるマネジメント機能の強化と行政評価の再考について

(質問1) 今年になり4件の事務処理ミスが新聞等で報道された。事務処理ミス防止対策の徹底についての市の考えは。
(質問2) 政策、施策の行政評価はどのような手順で行われ、その評価結果は行政改革に結びついているのか。
(質問3) マネジメントシートの運用は、重点項目に絞り込んだ運用でよいと考えるが、市の考えは。

2018年3月 議会代表質問

第2次南アルプス市総合計画の過去3年間の実績と今後の課題について

(質問1) 第2次南アルプス市総合計画に掲げられた5政策23施策の進捗状況は。
(質問2) 五つの政策のうち二つの政策の達成率が低く、今後の課題と思われるが市はどのように捉えているか。また、基本

計画の見直しは必要か。

(質問3) 目標値の設定や実績評価の捉え方を見直すべきと考えるが、市の考えは。

将来に渡り健全財政を維持するための歳入の確保と自主財源の創出について

(質問1) 「財政計画」は、財政の見通しを示すだけでなく、財政の見通しと健全化計画を結び付けるべきではないか。
(質問2) 歳入の確保と自主財源創出のために、市は具体的にどのような取り組みを行うのか。
(質問3) 自主財源の創出に専門的に取り組む機能の創設が必要と考えるが、市の考えは。

2018年6月 議会代表質問

災害即応体制の充実・強化について

(質問1) 南海トラフ地震への対応を踏まえて県が県地域防災計画を修正したが、それを踏まえて、市の地域防災計画の見直しをする考えは。
(質問2) 防災活動の充実のため、ドローンの活用方法について研究すべきと考えるが、市の考えは。
(質問3) 消防・防災・防犯を別々の所管部局が担当する現在の体制から、これらの危機事案に一元的に対応する体制へと変更する考えはないか。



2018年9月 議会代表質問

指定管理者制度導入の効果と今後の運営について

(質問1) 指定管理者制度導入後、検証作業はどのように進めてきたのか。
(質問2) 導入の効果と課題は何か。また、課題に対する今後の取り組みは。
(質問3) モニタリング制度の運用が施設の運営状況の改善にどのように結びついているのか。
(質問4) 指定管理者が市に報告する事業報告書の平成29年度分の一部が、条例で定められた期間を過ぎた今も提出されておらず、制度を運用するためのP.D.C.Aが回っていない。緊急な改善を要求する。

大阪府北部地震・西日本豪雨災害の教訓を踏まえた防災対策について

(質問1) 公共施設のブロック塀等危険個所調査の内容と結果は。
(質問2) 市内のブロック塀などの危険物・危険個所の調査と事前対応は。
(質問3) 西日本豪雨を踏まえた対策は。



市当局の答弁内容はホームページでご確認ください。

防災活動

安全そして安心して暮らせる
まちづくりをめざして
桜田ちからは活動します

防災ひと言通信

下市之瀬区内
隔月発行

ホームページで20号公開中!!



●2018年1月
避難所開設運営訓練実施



●2018年5月
南アルプス市防災リーダー連絡協議会設立



●2018年7・8月
夏休み防災スクールの開催



●2018年9月
上級救命講習を受講



●2018年9月
第5回南アルプス市ハーモニープラン推進会議で地域防災について講演

地域の話題

2018年2月13日 下市之瀬支えあい協議体「ラヴィの会」を立ち上げて活動を開始

いきいきクラブの会長さん、民生委員さん、そして私の妻と私の4人で下市之瀬支えあい協議体「ラヴィの会」を立ち上げて活動を開始しました。年齢を問わず、地域の皆様に憩いの場所と思っていただけるような「居場所」づくりを目指しています。主な活動内容①3月:「夢浪漫」ライブ②5月:映画会③8月:落語会④10月:下市之瀬の思い出を語る会

また、市の研修を受けて、市民介護予防サポートリーダーの資格を取得しました。学んだことが今後の活動に活かしていけばと思っています。

2018年4月24日

伊奈ヶ湖周辺施設がリニューアルオープン

4月24日、市が再整備を進めていた伊奈ヶ湖周辺施設がリニューアルオープンしました。

ユネスコエコパークを学ぶ環境教育の拠点と位置づけ、さまざまな体験プログラムを展開し、林間学校の児童・生徒や観光客の利用を想定しています。



2018年5月24日

鎧物師屋遺跡出土品と長田口遺跡出土品が「日本遺産」構成文化財に認定

5月24日、文化庁は地域の有形無形文化財をテーマでまとめて魅力を発信する「日本遺産」について、甲州3市の「葡萄畠が織りなす風景」と山梨県の6市と長野県にまたがる「星降る中部高地の縄文世界」などを認定しました。

本市からは、「子宝の女神ラヴィ」をはじめとする鎧物師屋遺跡出土品と長田口遺跡出土品が構成文化財に認定されました。県内では初の認定です。

下市之瀬からの出土品が日本遺産です。嬉しいですね。

